

タウンミーティング(2023.5.20開催 場所:大穂保健センター) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
1	<p>広報紙に誇れるまちという項目がありまして、これを見てびっくりしたんですが、去年のタウンミーティングで何人かの方が言ったことが出てまして、市長は本当にやる気なんだなと思った次第です。</p> <p>公共施設のゼロカーボン化に向けた再生エネルギー設備導入調査、そういう新規予算をつけたことが書いてあります。これについては私もぜひやって欲しいと思っていたことですので、お伺いします。さっき(冒頭のプレゼンテーション)も出ました、高エネ研南側跡地にデータセンターができるということで、これは非常に重要な設備ですから、それができることは良いことだと思いますけれども、すごい電力を消費します。その電力はつくば、或いは茨城県から供給するというのがほとんど不可能で、他の地域から買って、他の地域の電力を使うことになるわけで、そこからは日本の現状ですと、炭酸ガスがたくさん出るという、火力発電中心です。それを補うことを、つくば市の責任として、再生可能エネルギーの発電の事業を取り組まなくちゃいけないと私は思うんです。それでいくつか提案として、まずできることから、つくば市の公共施設、小学校・中学校の校舎の屋根、或いは交流センターの屋根、駐車場の屋根、つくば市庁舎の駐車場の屋根、そういったところに太陽光発電をするべきだと思うんです。</p> <p>それから営農式発電もやって欲しいんですね。つくば市に上海電力という中国の企業が、水杜の郷という営農式発電では日本一の設備があります。これは中国だからって言って非難する人もいるんですが私はそうじゃなくて、日本の企業とか、或いはその自治体が、確かつくばですと農業をやってる場所がありますし、それから耕作放棄地もあるような状況で、何でやらないのかと常々思ってる次第です。それで、公共施設としては思いつきですが、例えば駅の周りの通路にアーケードを設けて、そこで太陽光発電を行うとか、そういったアイデアも書いたわけです。それから、今日つくば市の市庁舎のすぐそばにあるイースで風力発電やってみました。円筒形のプロペラを回す方式じゃなくて、そういう新しい取り組みで発電ができるという設備がありますので、そういうものを利用することも考えていただきたいと思います。</p>	<p>本当にたくさんご意見をいただいています、市民の皆さんのアイデアを聞く機会としてやらせていただいていますので、いただいた意見は、できるだけ中で全部検討して、できるものできないこと分けていきますので、本当にありがたいと思っていますし、お話いただいていた公共施設の調査も、これは闇雲につけても、日照があまりないところとかでやるとコスト的に全然見合わなかったりしますので、きちんと全面的に調査をして、どこであれば効果的にできるかってそういうところにしっかりと投資をしていこうということでの予算ですので、やっていきたいと思っています。本当にご提案ありがとうございます。</p> <p>営農発電については、今も水守の事例お話いただきましたが、議会でも問題になっていたりするところで、別にこれ中国資本だからどうこうという話ではなくて、営農自体が完全に赤字の状態なんですよ。ですので、要は発電事業がありきの営農になっていて、別にいいじゃないかって思うかもしれないですけど、農地としての税金しかかかってなくて、その柱の部分しかかからないというので、本来の趣旨と、このような大規模の事業者が入ってくるってのはちょっと変わってしまっているところがあるんですよ。小規模農家が営農の足しにするためのソーラーパネルというのだったらよかったですけど、実は国でもかなり問題になっていまして、先日国会議員の先生方がいらっしゃった際に私も一緒したんですけど、やっぱりこれはその営農発電のあるべき姿ではないよねということは問題意識をお持ちでした。だから、発電事業だったら発電事業としてやったらいいと思うんですけど、それはソーラーシェアリングとはまたちょっと別の形なのかなというようなことがあります。私も農業の団体を立ち上げてやっていたけれども、小規模な農家が真面目に農業をやりながらその足しにしていくという意味では営農発電というのは本来的に価値があるものだと思うので、そういったことについてはこれからも考えていきたいと思っています。</p> <p>何しろ国でも、新しい制度で想定していなかった、大規模事業者がものすごい投資をして開発をするというようなモデルに対してどうするかというも、今検討をしているというようなことを聞いてますので、どこの国であろうとも、真面目に農業やってる人たちがあんまりこうやる気がなくなるものではなくてですね、発電は発電としてしながら、農業も農業でやりながらと。そうじゃない発電については、やっぱり屋根貸し的なものであるとかですね、そういったものを積極的に使っていくという使い分けが必要なのかなと思います。</p>

タウンミーティング(2023.5.20開催 場所:大穂保健センター) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
2	<p>教育環境が売りのつくば市で、高校が少ないというか、無いということで、この問題が最近だいぶクローズアップされてる感じがするんですが、公立高校は市で作っちゃったらどうなのでしょうか。</p> <p>ふるさと納税で流出してる税金を持ってくれば、一つ高校ぐらいできるんじゃないですかね。</p>	<p>今、市としては、とにかく小・中学校を作ることかなりぎりぎりの中で全力でやってるという状況があるんですね。今年の4月に新しく研究学園小学校・中学校と香取台小学校も開校して、来年みどりの南小学校と中学校が開校して、今度中根・金田台にも新しく小学校を作るというので6校、近年だけでも作らなくてはいけない状況があるんですね。これがあるにもかかわらず、市で公立高校を作るとなると、なかなか大変なことになると思うんですね。建物だけでも数十億からかかってくるんですが、さらに加えて、教員は県の公務員なので、この先生方をどう採用するかということも考えなくちゃいけないんですけど、何しろ今小中学校の先生だけでも足りなくて、教育長が個別に声をかけているような状況で、そういう採用作業も県は一括でやりますけれども、足りない分は市で埋めたりしていて、人件費だけでも高校は場所によって大体100人ぐらいの先生方がいたりするんですけども、そうすると年間6億ぐらいになってくるっていうことを考えると、ここはまず市としては、とにかく今、一生懸命小中学校の整備をやってるので、県にお願いをしたいなということは思っています。県としては今のところ新しく作るつもりはないのかなというふうに思っていますが、市としても、例えば通学の負担が大きいなんていう声がありますので、そういったところは県に対しても、全面的に市の協力をするなんて話もしてるんですが、なかなかそれだけで解決しない問題もあるのかなと思ってます。私も余裕があるのであれば、作ってしまえる方がいいとは思っているんですけども、現状のこの県と市の教育の体制等々もろもろ考えると、ちょっと今すぐにやるというのはなかなか大変というところが正直なところなんです。</p> <p>建てること自体は何とかなるんですね。問題は人の方なんです。例えば県の土地に県が建ててくれて、じゃあ運営は市がやるよみたいな話だとしても、教員を誰が手配するかとか、その人件費どうするのかっていうことが結構問題で、一時期全面的に協力するなんていうご発言もされてたので、私もいろいろ県の関係者と話して、直接聞いたりもしたんですけど、あまり具体的な話は実際なくてですね。要は基本は市で全部やるというようなのがあって、何を協力してくれるのかっていうのは実際はあまりないようですので、なかなか今のままだと大変だなというのは思ってますね。</p>

タウンミーティング(2023.5.20開催 場所:大穂保健センター) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
3	<p>前回のタウンミーティングで市長にお願いした、クリーンセンターのごみの搬入の混雑を何とか緩和して欲しいという話があったと思うんですが、今日あそこ通っても全然改善してないということで、がっかりしました。それを何とか交通事故が発生する前に、お互いにアイデアを出して、例えば入口や出口を作り直して欲しいということが1つ。</p> <p>福祉に関しては、東京では老人が65歳になると、バスと地下鉄はすべて無料です。つくば市はなぜできないのっていうのが、一つ不思議なことです。予算を持ってるし、あとは結構首都圏から移住してくる人が多いと思うんですが、これをぜひ考えて欲しい。単に交通の便だけじゃなくて、例えば恥ずかしい話だけど、65歳以上になると、市で一つ大きな写真を撮る。要するに写真屋さんがいて、大きい写真撮って持って帰りなさいと言われる。もうちょっとアイデアを絞り出して、項目を10個ぐらいでもいいから作ってそれを選択してもらえばどうですかね。</p>	<p>去年お話いただきましたことは、情報共有がされてなかったのかもしれないですけど、ご提案の通りに周回道路にすべく、今年度予算を取っています。今年度測量と設計をして、来年度その舗装をきちんとしていくという計画を立てていますので、去年いただいたご意見はしっかり今年度予算に反映をさせていただいています。確かにおっしゃる通りで、安全性の面でも、利便性の面でも効果があると判断したからなんですけども、どうしても市の仕事って計画と実施で2年かかっちゃうんですけども、進めています。ご安心いただければと思いますし、ご提案ありがとうございます。</p> <p>高齢者向けのメニューはおっしゃる通りだなと思っていて、さっきちょっとご紹介しましたけれども、アシストの自転車の補助は高齢者の皆さんに使っていただきたいですし、芸術鑑賞も使っていただきたい。こういうオプションを、写真以外にもどんどん増やしていきたいと思っています。市内のいろいろな団体と連携をして、割引とか助成とか、節目年齢には何か無料とか、そういうふうに、言ってみればメニューを増やしていくという方向で考えているのは、間違いないことですが、バス、公共交通の無償化をするとしてもなかなか公共交通だけで行ききれないところがありますので、今回ここにそれなりの大きな予算をつけて、議会の皆さんにもご理解をいただいて、今お話されたような形でメニューを増やしていったら、こういうのを使えるねということをやっていくべく、今、高齢福祉課などと引き続き議論をしているところです。公共交通の無償化という点に絞ると、すぐにはいそうですねっていうのはちょっと言えないんですけど、いろんなメニューを増やしていこうと思っています。</p>

タウンミーティング(2023.5.20開催 場所:大穂保健センター) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
4	<p>今私80歳になりまして、高齢者で1人住まいなんです。去年手術をしたりして、ごみ出しとか、バス・車も乗れなかったし、バスもなかなか来ないし、夜買い物して帰ると真っ暗だったりして生活が理想的ではないんですよ。つくばって研究学園都市という、新しいエキスポがあり、それからエクスプレスが通り、未来を語るべきようなまちだと私は信じてるので、だから研究所がたくさんあるわけだし、建築研究所だってあるしね。人間がゆりかごから墓場まで生きてる中で、つくばに住んでてよかったなって思えるようなまちにしていきたい。この間何か全国で何位とか、寿命が延びたとか、なんかよくそういうのが載ってたんだけど、人間にとって、そんな贅沢とかそういうんじゃなくて、健康で住みよい家っていうかあると思うのね。そういうのを遊び場所っていうか、少しの土地があればモデルハウスみたいな、みんなが遊べる。そしてそれを見れば、基本になって、地域社会はもう繋がっていくわけだし、赤ちゃんから年寄りまでどうしたら幸せに住めるかっていうような場所を作って、そこを出たり入ったりしながら、みんなで考えていくっていうか、そのモデル的な、基本的な住み場所を作る。</p> <p>そして何かクリエイティブなものが、つくばは少ないのね。他の所は道の駅ができたり、今吉沼とか頑張ってる場所もありますけど、何かもうちょっとつくばが盛り上がっていくような、健康祭りみたいなものを提案して、楽しく希望の持てるまちに、ぜひ皆さんの知恵を借りながら、若い市長さんですから、理想的なまちを作っていただきたいと思えます。</p>	<p>すごく大事な視点ですし、まさに今お話いただいたようなことが、私がいづも庁内で、高齢福祉課とか地域包括支援課などいろいろ話している内容で、地域に何はなくても居場所があって、そこに行けば誰かいたり、何かできたりするような場所がもっと必要だよってことを言い続けていて、それをつくば市の一番大きな計画にも、地域のたまり場を作るということを書き込んで、それを今少しづつやっていて、そのための補助金なんかも作ってまして、桜ニュータウンなんかだと、空いてる場所を使ってそこで皆さんがマージャンをやったり、写真展やってみたり、ダンス教室やってみたりみたいな場所ができていたり、高見原でも空き家を借りて、そこの一軒家で集まってみたりというふうに使っていただいています。本当に空き家もたくさんありますので、それを地域の皆さんの居場所にするためのサポートは行政としても全面的にやらせていきたいと思っていますので、もしちょっとこういう場所でやってみたいんだけどなんていうことがありましたら、市役所にご相談いただければ、幾らかの補助金とか、どういうふうにそれを始めていけばいいかなっていうご相談をしっかりとさせていただきたいと思っておりますし、そういう場所に歩いて行けるとか、自転車を使ってちょっと行けるかななんていう場所をたくさん増やしていきたいなと思っていますので、ぜひご活用いただければと思います。</p> <p>ごみ出しの件で最先端っていう研究所の文脈で話をすると、それも実はすごくやりたくて、もうそれこそごみ出しのロボットみたいなので回収して回っていくみたいなこともやりたいんですけど、今のところ道路交通法が邪魔をしていけないので、そういうものの緩和なんかしてもらえないかって話はやっていますけど、なかなかこの国絡みの規制を少しずつ今確実に緩和されてる部分があるんですけど、この件はまだそういうごみ出しロボットをやる、整備不良車両ということで駄目だということになってしまふ。頑張ります。</p>

タウンミーティング(2023.5.20開催 場所:大穂保健センター) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
5	<p>つくばは未来の都市とか研究学園都市って言うてますけど、すでに動脈硬化を起こしてる高齢化したまち、はっきり言えばもう古い街になってると思います。各種のインフラもそうですし、例えばこの交流センターとかも、或いは各地域の学校、新しいところはともかくとして、古い学校っていうのはもう50年以上経ってるようなところも大分あるということで、そもそもが70年代ぐらい研究学園都市建設のときに、あらかじめでき上がってるところからなっている。そういう中で、人口が急増しているというところで、道路が新しくなります、小学校も作ります、プールも作ります、陸上競技場も作ります、というふうになりますけれども、それだっただけで20年30年したら、老朽化した建物になるというところで、じゃあ例えばこれから30年、50年、この都市を運営するには幾らかかるのかっていう総合的な試算が結局なされていない。公共施設長寿命化ですとか、公共施設白書とかで整理はされていますけど、じゃあ毎年どれだけのお金がかかって、いつ何が、どれぐらいのお金をかけて更新されるのかっていう見通しが無い。例えば、ここ(大穂保健センター)にしても、本来であれば全面建て替えで交通センターに変革させられて、北側の交通拠点として、公共交通のターミナルになるというプランがあったけども、結局それがなくなってしまう。じゃあ、ここがこうなるんだったらここに住もうっていうプラン、或いは事業者さんがここでこういうものができるんだとしたらここにお店を出そうという長期的なアクションが動きにくいまちになっているので、プレハブ的にショッピングセンター大賑わいだけれども他のところには人がいないとか、そういうことになっている。そういったところの、長期プラン、未来構想として、形容詞で書かれてるものはあるんですけども、数字と空間的なプランっていうところを、どう考えておられるのかっていうのをお聞きしたいんですが。</p>	<p>すごく大事な視点でして、まずいくらかかるのかという部分では、数値は実は出してはいるんですけど、少し前まで8,000億円と言っていたんですが、今後40年間であらゆるインフラの維持管理、これを再度見直しさせたらですね、9,900億円ということで大体1兆円、今後40年間でかかっていくということは出ています。で、それぞれの施設の長寿命化計画は、学校の長寿命化計画とか交流センターとか、これはもう全部作っていますので、順次やっていきます。</p> <p>ただ、それはあくまで施設の点としての話で、今おっしゃった点はすごく大事なお話で、どれぐらい大事に思っているかという、今、都市計画マスタープランというのを更新の時期が来ていて、私も各部の職員が入って実際に地図を見ながら、専門家にも来てもらいながら、まさに長期的にどういうふうにしていくんだということを徹底的にやっています。どうしても市役所では、今までは教科書的な都市計画マスタープランを作ることこだわっているんですけども、もうそれでは成り立たない要素がいくつもあって、例えば都市計画マスタープランに何となく書かれてることも、これってどういう意味で、例えばこの伝統的な景観って何のことを言っているんですか、なんて言うと、結構職員も「ちょっとあーそうですね、何となく書いてありますね」みたいなことは結構あったりするんで、まずエリアをどういうふう考えていくかをみんなで議論しようよという話を今しているところです。ブレストレベルで、例えば、ここは協議会が大曾根・花畑・筑穂という形でできたのが象徴するように、大曾根単体とか花畑単体ではなくて、ここが一つのエリアとしてきちんと見るべきだよなんて話を、じゃあどういう要素がそのエリアとして、十分な要素を備えているかというのを、いろいろ海外の知見とか、日本の事例とかを見ながら、概念としては、英語で言うとコンプリートネイバーフットという概念ですけども、どういう公共施設、どういうスーパー、どういうものがあれば、この圏域で、例えば20分以内で生活ができるでしょうかなんていうのを、具体的にエリアごとにまずちょっと考えてみようということで、今頭をほぐしているところなんです。その作業をしないで、今までの延長線上の都市計画マスタープランをちょっと変えるっていうことだけやっていると、やっぱり30年後とか、50年後のまちの形って見えてこないですし、もうこの少子高齢化に関して言えば、いずれつくばも人口減少するということこれはもう明確に見えてくることですので、そういう時代にじゃあどういう生活体系が必要なんだろうかということをもっとやるところです。結構その都市計画が、移動とかなり密接に関わっているんで、交通部門なんかそこを呼んだり、経済部も呼んだりしますが、例えば、みんなが電動アシスト自転車に乗っている状況と乗ってない状況によっても、その範囲って結構変わってきたり、或いは本当に、空飛ぶタクシーはともかく</p>

タウンミーティング(2023.5.20開催 場所:大穂保健センター) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
		として、モビリティの形は間違いなく30年後というのは相当変わっているとは思うんですね。だから、何が必要な要素なんだろうっていうのを、その技術の革新の部分をどこまで読むかってのは結構難しいんですけど、そうは言っても今の段階でやれることはやっていかなくちゃいけないよねというような話をしながら、その議論を始めているところです。

タウンミーティング(2023.5.20開催 場所:大穂保健センター) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
6	<p>今考えて今すぐやるべきものというのと、バックキャストでやられてるっていうところは存じ上げているんですけども、今考えなきゃならないのって、全体の都市計画なんですよ。言葉悪く言えば、どこを切るか。その代わり、切るけれどもこっちに来てもらえれば、豊かな生活ができますよと。</p> <p>で、移動と絡めるって言っても、移動手段で拡散を許容しちゃいけないわけじゃないですか。離れてるところで居住してる場所、家に水道引いてよ、下水道引いてよ、電気が来てない。でも、過疎になってるところにそういう固定的なインフラを供給していったらそこはもう完全な負担でしかない。だとしてどこまでの範囲でどれだけの豊かな生活ができて、その中でどう暮らせるかっていう設計もまた別途必要になってくる。今の要望に対してすぐ答えるとか、そういうことも重要だとは思いますが、それこそさっきの1兆円っていう話、正確な数字を初めて聞いたんでちょっとびっくりしてるんですけども、これは正直に言うべきだと思うんですよ。その数字がない中で、こういうふうにして欲しい、ああいうふうにして欲しいっていうことには答えられない。</p> <p>それこそさっきの高校の話もそうですけれども、こういう年間の負担があり高校を市ですることはできないんだと言えば納得するかと思う。その代わりに、おっしゃったような公共交通とか交通体系のところフォローしていくんだとか補助をするんだっていうふうにするれば、納得するところ、してもらえるところとか理解してもらえるところとかありますけれども。その辺の、現状と将来の予測を把握しない中で皆してあれしてとか、それこそ洞峰公園の話なんかも、市で買ってよっていうところで、結局買うことになってしまいましたけれども、いやいやそれ駄目なんですよっていうことも言えたかもしれない。だからその辺がない中で、短期的にお金がバンバン使われる、学校とかもいっぱい建てていただきましたけれども、そのあたりが、このまちに暮らす上で、ちょっと将来に対して不安になってしまう要素なので、答えはないですし、そんな一朝一夕で答えられるものではないので、ぜひそういう取り組みをされてるんだしたらそこをもっと発信していただきたいなと思います。</p>	<p>市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)</p> <p>発信は本当に課題ですし、一つ言えるのは、集落ごとには人口予測とかも全部やってるんですね。じゃあ、どこを拠点にするのか、どこはいずれなくなっていくのかっていうような議論も、つくばではまだ起きてないですけども、日本全国では限界集落があって、そういう議論をしてるので、じゃそれどうするのかっていうのは専門家でも話してるんですが、それはその集落の人と対話するしかないっていうことを言っていて、このままいくとこの集落の人口はこうなります、なかなか厳しいですと、ただ皆さんから何分以内に生活できる拠点は、こういうふうを用意していますと。徒歩ではちょっと無理だと思ってますけれども、何らかの手段があればと。今すでに過疎のところに積極的に移住を求めるかとか、そういうものを促進するとかはないですね。絶対なくて。今行っている周辺市街地のR8等を拠点にしていくということが、大きな方向性だとは思っています。いずれいろんな集落の議論をしていかなきゃいけないと思っていて、市の職員も旧集落の伝統的な集落出身の人もいますので、若手とも意見交換すると、将来はここには住みたいと思いませんみたいなこと言ったりするんですね。でも、ちょっと近くへ買い物に行ければ何とかかなるかなとか。そういう中で条件付けをしているところですね。</p> <p>今お話あった負担感の説明っていうのは、まだまだ足りてないと思ってます。今の1兆円の話も隠してるわけじゃなくて、記者会見でも話をしたりしてるんですけども、将来の財政負担とかも、長期見通しも中期見通しもある程度作っていますので、今学校これぐらい建てたら、今後の負担がこうなるのかっていうのをかなり真面目に考えながらやってるんで、今のところそれは大丈夫なんですけれども。例えば、地方債の償還期間も今までちょっと長めに見てたんですが、今後のことを考えると短期で返してしまった方がいい、そっちの方が少し有利になるかなんていうぐらいの調整を、25年とか20年を10年にするとかですね、そういうことも含めて、かなり財政も見ながらやってるんですが、確かにこういう話はあんまり出してないというか、聞かれないと言わないですし、言ってもなかなか一般受けはしない話だなとは思いますが、それこそかわら版とかでわかりやすく書くとかっていうことは、もうちょっとしてもいいのかなと思うので。何月号か先まではかわら版の内容が決まっちゃってますけど、その辺が落ち着いたら、財政の見通しとかですね、何にいくらかかるとか、そういう話も含めてしていこうと思います。ご提案ありがとうございます。</p>

タウンミーティング(2023.5.20開催 場所:大穂保健センター) 懇談概要

	参加者からの御意見・御質問の概要	市長等による回答の概要 (※特記のないものは、市長による発言内容です)
7	<p>最近、未来のまちってどうか、先進的な科学技術のまちってつくばというよりは、どちらかというと境町の方が大分メディアにも取り上げられて、全国的に話題になってますけど正直どう思ってますか。</p> <p>多分重要なのって、自動運転の話とかも、すぐニュースとかを見てやってるから、未来なんだからこれ走らせりゃいいじゃんっていう意見あるじゃないですか。その中で、あれって結局公費負担がものすごくある中で市民が無料で使えてるっていう事実、その事実が伝わらない中で、何で入れないんだっていう批判は必ずあるわけです。その辺り、数字のファクトがない中でイメージ先行になってしまうのはやっぱりよくないですから、その辺を、反発を受けない形で、かつ、うまく理解してもらえるような使い方、コミュニケーションを逆に未来が見える形で行っていただけたら、多分、いろいろ大変だけれどもここにしようかなという気になってくる人も増えるのかなと思いますので、言いにくいことは多数あると思いますけれども、言いにくいことでも言わなきゃならないことは言わなきゃならないので、その辺の伝え方をうまくやっていただけたらと思います。</p>	<p>あんまり気にしていないかもしれないですね。例えば自動運転とかも、あれは別に規制緩和ないのでできる話なんですけど、赤字を出してやるんだったら別にできるので、そうではなくてつくばがこだわってる形は、スマートシティ協議会という中で事業者の皆さんが、最初はもちろんちょっと持ち出しになりますけれども、長期的にそれによって回収ができるもの、ビジネスという持続可能なものにしないといけないよねということがありますので、今つくばが目指してる方向性というのは、それを規制緩和を含めながらやっていくので、もちろん既存の技術でそれが有効かつ持続可能なものであれば、全然やります。</p> <p>市として、もしこういうことをやればとかっていう言い方もできますし、それも別に言いにくいとかかっていうよりは、どうしてもわざわざ積極的に自分から言っていないところがちょっとあるなと今お話ししながら感じましたので、逆に積極的にそういうことも発信しながら、それでもできる範囲の中でこういうことを取り組んでいきますよ、というようなメッセージをとり続けるというのが大事なんだろうと改めて思いましたので、頑張って発信方法を工夫していきたいと思います。</p>
8	<p>小中学校のホームページっていつ再開しますか。</p>	<p>間もなくと聞いていますので、もうちょっとお待ちいただければと思います。</p>